

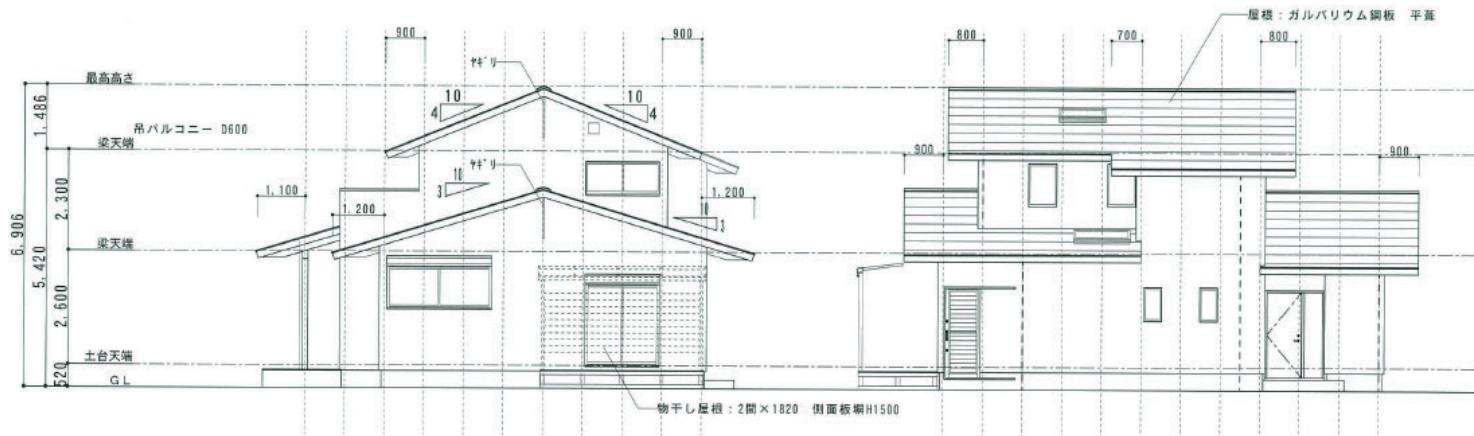
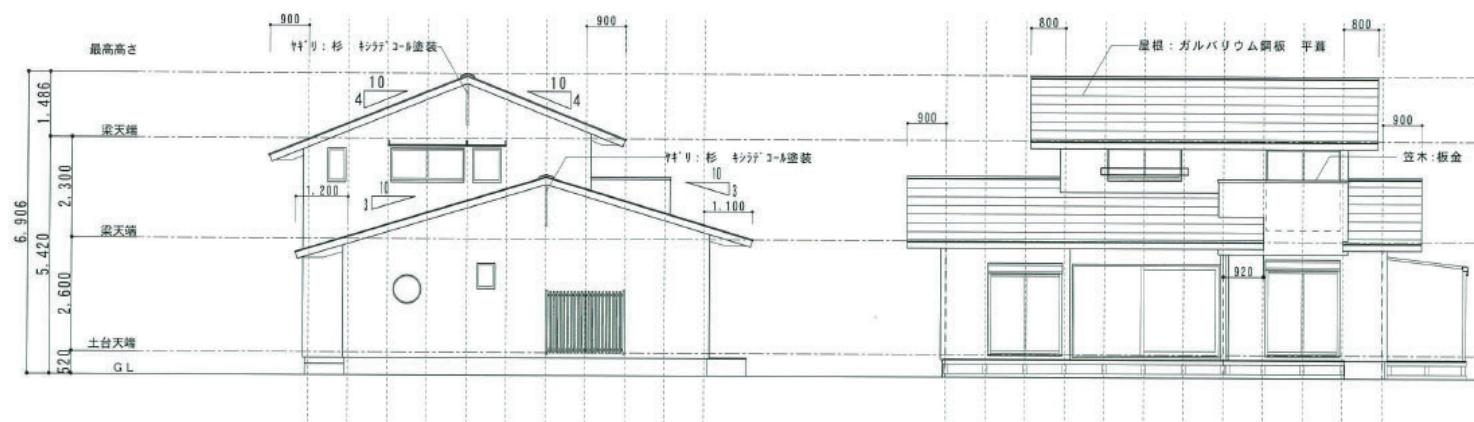


## 田舎暮らし ～サンタと暮らす家～

緑あふれる敷地に建つ、借景を活かしたお住まい。リビングのバックヤードに水廻りを配置した回遊できる動線で、家事もしやすく、ご主人の書斎やサンタ(子犬)くんの出入り口などこだわりいっぱいのお家になりました。

### 居住性やデザイン性を高めるための工夫

- キッチンの裏手に水廻り動線を設け、  
回遊できる動線
- ガレージから雨にぬれずに入れる勝手口の動線
- 2階を小さくし、四方どこから見ても良い外観に



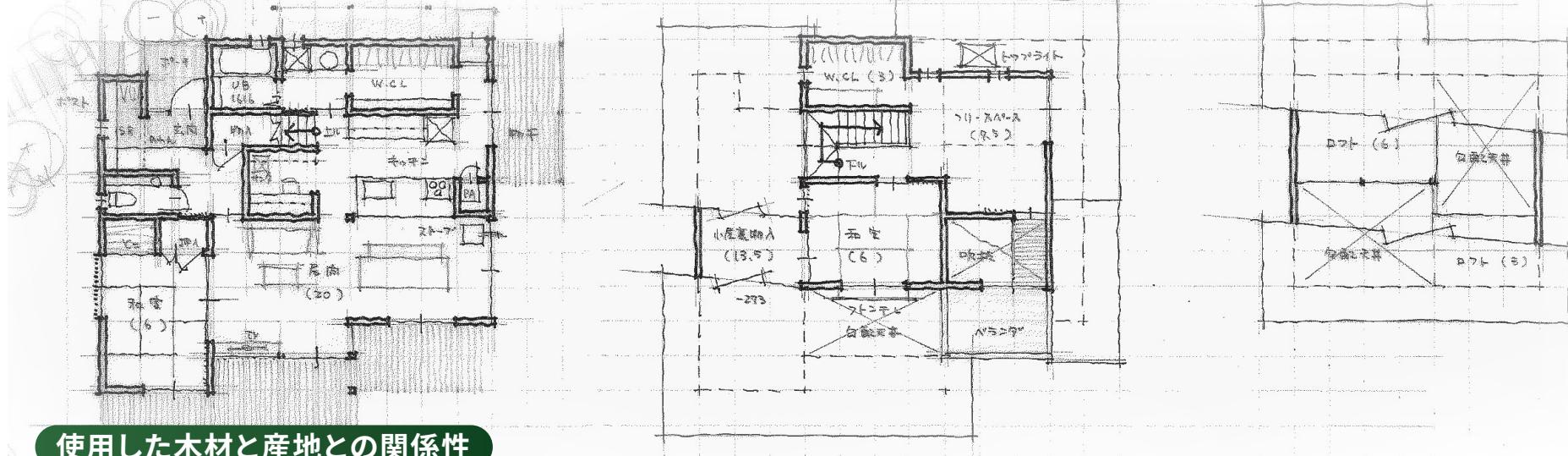
## 設計コンセプト

建物の四方が見えるので、2階を小さくして外観をデザイン

- ①リビングは大きな木製サッシで開放感があり、深い軒とデッキで庭とつながります。
  - ②キッチンの左側には縦長のマグネットボードと、2帖ほどの机スペースがあります。ご主人の仕事場所、奥さまの机、お子様が小さい間はランドセルや習い事のカバンを置いたり、宿題したり、暮らし方の変化に合わせて使い方も変化できるように計画しました。
  - ③足元はチワワのサンタ君の家の扉です。机スペースの足元にゲージを置いて、ひょっこり顔をだせるように上部は開けた状態に。
  - ④キッチンの裏は浴室、洗面脱衣、クローゼット、物干し場とつながり、トップライトを設けることでより明るくしています。
  - ⑤3帖のクローゼットは室内物干しも兼ねています。
  - ⑥2階の子どもスペースは将来、仕切った時に北側の子ども室も明るくすることができるようトップライトを設けています。



建築概要



## 使用した木材と産地との関係性

構造には強く目の詰まった紀州杉、造作には木目のきれいな吉野杉

それぞれの特徴を活かして適材適所に配置しています。定期的に森林ツアーを開催。伐採現場や木材の加工現場を見学し、森から木材になるまでの流れを知っていただきます。その際には図面と柱を見比べながら自分自身の大黒柱を選んでいただきます。

## 木材の利用を進める構法

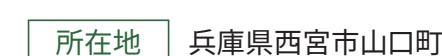
鴨居や長押といった造作材の加工は自社工場で専属の大工が行っています

経験豊富な大工が木の癖や木目の美しさや節の有無などを見極めながら加工することで、木目のきれいな材料は見える部分に、木目がきつく、色が濃いものなどは隠れる部分に使用することですべての材料を余すことなく使えるようになっています。

\*加工の際にでてくる木くずは、動物園などの必要とするところで使っていただいくとともに  
毎月お送りするDMに同封し、木の香りとともにイベント情報を届けています。

#### 木材をリサイクルした木質燃料

住宅を建築する際に発生した端材やおがくずを木質の固形燃料として再加工し、冬の暖房器具として使用するペレットストーブに利用しています。



敷地面積 512.23m<sup>2</sup> (154.95坪)

建物面積 1F 77.70m<sup>2</sup>  
2F 33.65m<sup>2</sup>

合計 111.35m<sup>2</sup> (33.65坪)